

12月28日古田史学  
カラー15段

奈食新聞

令和3年(2021年)12月28日 火曜日

企画

6

# 古代史講演会が大盛況

和泉史談会  
「改めて確認された博多湾岸の俾弥呼の宮都」

大阪府立大学講師・正木裕氏の講演

■九州説 裏付ける結果が続々

近年の考古学や科学分析で「邪馬壹国九州説」が一層確実となってきたというのが最近の状況です。①2000年代に冶金学者・新井宏氏による銅鏡に含まれる鉛同位体分析で、魏の年号入りの「三角縁神獸鏡」は仿製鏡(国産鏡)で、俾弥呼の鏡ではないとされました。②2010年代に、柳田康雄・国学院大学客員教授らにより、「魏倭人伝」に記す文書外交に必要な墨痕の残る硯が、俾弥呼の時代を含め、北部基準に3倍、6倍、20倍、30倍近く、実測300g、1.9kg約75g。1.975gで「300歩里」なら「1歩25歩」、100歩では25~30歩。「径」とあるから「円形」の大規模墳丘墓(古墳)ではなく、「市有りて、有無を交易す」とある、半島との交易地であることを裏付けました。

博多湾岸、奈良盆地(纏弓・南郷等)「総括シボ」、南北に市有りて、船に乗り、南北に市羅す「市有りて、有無を交易す」とある、半島との交易地であることを裏付けました。

■俾弥呼の墓は磐墓ではない

魏志倭人伝には「卑弥呼以て死す。大いに冢を作る。徑百步、徇葬する者、奴婢百余」とあります。『三国志』韓は方と都市化が進んだ地域はJR博多駅南の比恵・那珂遺跡域で、他にはなく、初期ヤマト

講演する正木氏(左)、大阪府和泉市府中町2の講演会(右)

和泉市コミュニティセンター(左)、和泉市府中町2の講演会(右)

講演する正木氏(左)、大阪府和泉市府中町2の講演会(右)

&lt;p